

COOP

京都の生協

●2003●AUGUST●NO. 49

発行 ●京都府生活協同組合連合会

〒604-0851 京都市中京区烏丸夷川東南角 せいきょう会館2F

TEL.075-251-1551 FAX.075-251-1555

ホームページURL: <http://ha2.seikyoku.ne.jp/home/Kyotofu.Seikyoren/>

メールアドレス: Kyotofu.Seikyoren@ma2.seikyoku.ne.jp

C O N T E N T S



ネットワークNOW 2

● J A 京都女性組織協議会会長 豊田 勝代さん

● 京都府生活協同組合連合会副会長
(京都生協理事長) 小林 智子さん

◆ 京都府生協連第50回通常総会開催 7

◆ 食品安全の社会システム確立へ、大きな前進
～食品安全基本法・食品衛生法改正法公布～ 8

◆ 2003年 国際協同組合デー
第14回 京都集会開催 10

◆ ピースリレー 2003京都 12

◆ 府庁生協グリルが変わります！ 14

TOPICS 15

- 「京都商工会議所との懇談会」を開催
- 各会員生協で総代会開催
- 「第16回 京都府生協連役員研修会」開催
- 「理事長懇談会」開催
- 京都府生協連2003年度役員体制

◆ お知らせ ◆ 探訪 16

ネットワーク・ナウ 対談 Network! Now

京都府生活協同組合連合会副会長
(京都生協理事長)

小林 智子さん

J A 京都女性組織協議会会長

豊田 勝代さん

● 国際協同組合デー 第14回 京都集会が開催されました。 ●



全体集会



女性交流会「聞いて・見て・試食して」



京町家見学

京都府生活協同組合連合会副会長（京都生協理事長）

こばやし ともこ
小林 智子さん

「たべる たいせつ」を
消費者と共有する農業のあり方とは
女性のエンパワーメントが農業の可能性を拓く



J A 京都女性組織協議会会長

とよだ かつよ
豊田 勝代さん

ネットワーク・ナウ Network! 対談 Now

21世紀に
はばたく
京都の生協

各地の朝市や直売所がにぎわっている。まだ朝露を含んだ夏野菜、そば粉パンケーキやおからクッキー、味噌やトマトケチャップなど地元産品を使った加工品——。その土地の産物の特徴を知り尽くした女性たちと、彼女たちがつくる加工産品は、これからの農業に新しい可能性を呼び込むかもしれないと、期待大だ。おりしも、今年の国際協同組合デー第14回京都集会の女性交流会のテーマは「聞いて・見て・試食して」。各協同組合のグループによる「お気に入り商品」の試食で盛り上がった後、このほどJ A 京都女性組織協議会会長に就任された豊田勝代さんにお話を伺った。

「一歩先のくらしの安心」と 「生産者の誇り」

「ほんもの」を使った商品開発

小林 きょうはお疲れさまでした。女性交流会は、今回、試食をメインに据えた企画でしたが、いかがでしたか。

豊田 あのように食べ物を真ん中に置いて交流すると、会話が弾んで、思ったことが自然に話せますね。あつという間に時間が過ぎてしまいました。

小林 それに、みなさん、きつちり召し上がっていましたね（笑）。みんな、食べるの大好きだから。

豊田 私ね、生協の組合員の方がおっしゃった「一歩先のくらしの安心」という言葉がとても印象に残りました。安価指向の強い昨今ですが、食というのは、人の命をずつつないでいくものですから、目の前の値段の安さだけで判断してはだめですよ。

小林 本当にそうですよね。

私は、JAの方が「トレーサビリティシステムを整備するのは、売るためではない」とおっしゃったのが印象的でした。無登録農薬問題などが明らかになったりして、生産者の方々はとても大変な状況にいらっしゃると思いますが、「だからこそ私たちは、農産物をつくる過程をきちんと明らかにすることで『つくる誇り』を持ちたい」とおっしゃったんです。すばらしいと思いました。栽培管理記録用紙を拝見すると、とても細かなチェック項目が並んでいて、大変なお仕事だと思いますが、よろしく願います。

時代劇の撮影場所として有名な通称「流れ橋」のたもとに、昨年四月、食を中心にした総合交流施設「四季彩館」がオープンした。ここでは、農産加工を通じて食文化の伝承をめざすNPO「京・流れ橋食彩の会」が、地元産品を使ったオリジナル商品の開発・販売や料理体験講習などをおこなっている。豊田さんもその中心メンバーだ。

小林 四季彩館は以前にJA

すけれど。

女性協と生協の交流会で訪問させていただきました。並んでいる商品はどれもおいしいいうえに、とても洗練されていて、従来の加工食品とはひと味違いますね。

豊田 ありがとうございます。私たちのモットーは「農産加工品づくりは家庭の食卓の延長線上で」なんです。家で常備菜をつくる時って、保存料なんて使いませんか？ 私たちも、家族のための常備菜をつくるつもりで、農産加工品づくりに取り組んでいます。ただ、不特定多数の方に召し上がっていただくものですから、衛生管理には家庭以上の注意が必要です。

でもね、裏では苦心^{さんたん}慘憺^{たん}なんです（笑）。たとえば抹茶のパウンドケーキにしても、一般的には抹茶の代用に加工用原料が使われますが、私たちの地元は碾^{ぐん}茶（※脚注）の産地なので、ほんものの碾茶を挽いてつくっているんです。ところが、本来はおうす用のお茶ですのでケーキなどに使うと色が悪くなるんですよ。価格もそれなりに高くなりますし、その辺が苦心のしどころですね。

でも、これも「安全・安心」のためのコストではないかと思えますので、ぜひその辺りの意を酌^{しやく}んでいただいて、私たちの農産加工品を召し上がっていた





「連帯」をベースにした 農村女性の活動——ひとりでは できない農業だからこそ

小林 ところで、J A京都女性組織協議会は、農家の女性の組織として活発に活動なさっていますね。

豊田 私たちの先輩は、前身の京都府農協婦人部連絡協議会が一九五二年に結成されて以来、農村の生活改善や家族の健康を守る活動を続けてきました。家族の健康を守るにしても、生活様式を近代化するにしても、仲間や地域と一緒に取り組まないとできないことですので、活動のベースには常に「連帯」がありました。それが現在の「食と農を守る活動」などにつながっているのですから、その基礎をつくってくれた先輩の女性たちは偉いなと思います。

小林 農業はみんなで支え合わないと成り立たない仕事で、農村はそのための共同体。それを女性の組織がしっかり支えてくれたんですね。

豊田 農家は、お父さん（夫）

と二人でやる仕事が多いし、家事や育児も、まだまだ女性が担うことが多いですね。それに、男性は会社に勤めて、毎日の農作業は女性がすべて担っているという農家もあります。統計によると農業就業者の六割は女性なんですよ。

小林 現場の実態としては女性がすごい力を持ってらっしゃるわけですね。そのことがJA組織にもきちんと反映されてきているとうかがっています。

豊田 「JA運動への女性の参画」は以前から活動の柱だったのですが、九〇年代以降、JA役員の中に女性の理事や監事への就任がぐっと進むようになりました。それまでの「お父さん（夫）」についていく農業から、「ひとりの女性としてどう農業に取り組むか」というふうな、農家の女性の意識も明らかに変わってきましたね。

だけたらと思います。

小林 たしかに、くらしを取り巻く経済状況は厳しくなる一方なので、できるだけ安く買いたいけれど、消費者の消費行動は「食の安全・安心」を支えるうえで大事なことですものね。それに、本物を使ったおいしいものをいただくと、やっぱり幸せな気分になります（笑）。

ネットワーク・ナウ
Network!
対談 Now

農村に新しい風 —— 家族経営協定

豊田 それで思うのですが、女性も常に勉強ですね。せっかく参画の機会が与えられても、みずから学習して知っておかないと、対等に話ができませんから。

小林 社会的に認められるのを待つだけではなくて、女性自身が自分の力を高めていくことが大事だと思います。

先ほど豊田さんがおっしゃったように、農家では女性は労働力としても大きな存在だし、家事や育児も担ってらして、すごい大きな経済的な力



を持つてらっしゃるわけでしょう？ 実態として、男性と対等な関係も結びやすいのではないかと思います。

豊田 最近では、「家族経営協定」を結ぶ農家が増えてきたんです。家事や育児も仕事とみなして給料を払ったり、始業時間や終業時間、休日なども、家族で相談して決めて、家族全員が調印するんです。

何軒かの家族が合同で調印式をやる時などは、市長さんとか町長さんが立ち会われることもあるんですよ。

小林 つまり、証人ですね（笑）。家族で協定を結ぶなん

て、すばらしいわ！

豊田 そういう新しい発想って貴重ですよ。以前、農村女性の生活研究グループが「ハート&マネー」、つまりハートもお金も豊かになるというところで産直に取り組み始めました。あれも農村女性の起業ブームにつながっているかもしれません。

小林 農家の女性が経済力を持つことで、農業そのものにも新しい可能性が出てきたようですね。

豊田 みんなで学習して、みんなで作ろうと結集したところが、新しい発想を生む力になったのでしょね。女性のパワーは、これからの農業に絶対に欠かせないと思います。



「たべる たいせつ」は 消費者と生産者の協同のつえに

豊田 でも、生協の活動もすごいと思いますよ。国の食品安全行政を変えさせたのですから。

小林 いえ、食品安全の社会システム確立を求める運動は生協だけで取り組んだのではなく、

特に京都では、生産者にも大きなかわりのある活動だということ、JAをはじめ多くの方々も一緒に取り組んでくださいました。だからこそ、食品衛生法の抜本改正や食品安全基本

法の成立という大きな成果をあげる事ができたのだと思います。ありがとうございます。

豊田 あのような運動を大きな輪にしていけたら、いいですね。

小林 その意味では、きょうのようにJ Aや漁協や森林組合や生協が一堂に会して交流する機会はそれほど多くないので、大切にしていきたいと思います。

豊田 私たちも、生協のみならず、年に何回か勉強会ができたうれしいですし、生協のみなさんが私たちの活動のなかに入ってきてくださるのも、ふだんと違う発見があつて、いいかもしれません。先ほどのNPO「京・流れ橋食彩の会」には非農家の方も参加なさっていますから。

それに、きょう召し上がっていただいた編み笠だんごも、私たちの地域では昔からの家でもつくっていたものですが、そういう伝統食もお伝えできたと思っています。

小林 そうそう、そういう発信をお願いしたいんです(笑)。編み笠だんごは、とてもやわらかいですね。びっくりしました。

豊田 米粉もち米粉を配合することで、二、三日経つてもやわらかく食べられる、まさに伝統の知恵です。

離乳食も、いまは缶詰を開け

覚えた味は、成長しても舌が覚えていいるから、本物の味を子どもの時にちゃんと味わわせてやりたいと思います。

小林 できるだけその土地の自然の循環システムを壊さないように努力してつくられた食材を、丁寧に調理・加工して、きちんと食べる——。まさに「たべる たいせつ」ですね。

ですが、消費しているだけですと、その辺りを実感したり、素材そのものの味を知ったりする機会は少ないので、生産者のみなさんから発信していただくと助かります。

そのためには、きょうのような交流も大切にしながら、本当はもっと地域で、消費者と生産者の小さな集まりを持つことが大事なのでしょうね。地域という小さな単位で、常に消費者と生産者が一緒になって、食と農、くらしのあり方などを語り合い、いざという時には大きな単位でも力を合わせることができる——。そんな関係をめざして、今後ともどうかよろしくお願いいたします。



京都府生活協同組合連合会副会長／
京都生協理事長

小林 智子さん



J A京都女性組織協議会会長

豊田 勝代さん

※脚注：碾茶（てんちゃ）

抹茶に挽く前の高級茶葉。そのまま食べられる特徴を生かして、最近では「碾茶の炊き込みご飯」といった食べ方も提案されている。

ネットワーク・ナウ
Network!
対談 Now

京都府生協連

第50回通常総会開催

6月10日(火)、池坊学園洗心館で、京都府生活協同組合連合会第50回通常総会が開催され、全議案を可決・承認、3名の新役員が選出されました。

京都府生協連 吉田智道会長理事が開会ごあいさつをのべ、つづいてご来賓のみなさんをご紹介しました。京都府知事山田啓二さん(代理・京都府商工部次

長 黄瀬謙治さん)、京都労働者福祉協議会会長 羽室武さんからご祝辞をいただきました。

また、今回は5名の国会議員秘書・事務所長のみなさんにもおこしいただきました。

あわせて京都府議会議長、国会議員各政党会派、関係団体、各生協などからいただいた74通の祝電・メッセージをご紹介の後、11名の代議員から発言がありました。

最後に、佐藤京子理事より「第50回通常総会アピール」が提案され、総会の総意として拍手で採択されました

◇ ◇ ◇ ◇ ◇
【ご臨席いただいた国会議員秘書・事務所長のみなさん】

(順不同・敬称略)

奥山茂彦衆議院議員 秘書 藤野 雅彦

菱田嘉明衆議院議員 事務所長 奥田 俊治

玉置一弥衆議院議員 秘書 高山 和己

福山哲郎参議院議員 秘書 田中 健志

松井孝治参議院議員 秘書 木元 俊大

京都府商工部次長 黄瀬謙治さん



京都府商工部次長
黄瀬謙治さん



京都労働者福祉協議会会長
羽室武さん



【お寄せいただいた祝電・メッセージ】
(順不同・敬称略)

自由民主党衆議院議員 奥山 茂彦
民主党衆議院議員 山井 和則
民主党衆議院議員 玉置 一弥
民主党衆議院議員 前原 誠司
民主党衆議院議員 福山 哲郎
民主党衆議院議員 松井 孝治
民主党衆議院議員 池坊 保子
公明党衆議院議員 市田 忠義
日本共産党衆議院議員 西山とさ子
日本共産党衆議院議員 井上さとし
日本共産党衆議院議員 田坂 幾太
日本共産党衆議院議員 榎本 頼兼
京都府議会議長 村田 純一
京都市長 中川 泰宏
京都商工会議所会頭 J A 京都中央会長 上田 功
京都府漁業協同組合連合会代表理事会長 北川 龍一
京都府社会福祉協議会会長 栗津 浩一
きょうさん京都支部長 加藤 建夫
京都府商工団体連合会会長

<京都府生協連第50回通常総会アピール>

組合員と地域社会の信頼にこたえて、京都の生協活動を豊かに発展させましょう

——21世紀を平和で、人間らしい健康で生き生きとした暮らしを実現する、持続可能な社会としていくために——

2003年6月10日
京都府生活協同組合連合会第50回総会

さる3月20日、アメリカ・イギリスは、多くの国際世論に背をむけて、イラクへの戦争行為を強行しました。日本政府は、いち早く、これにたいする支持の態度をあきらかにする一方で、急ピッチで「有事」、すなわち戦争を想定した法整備をすすめてきています。「有事三法案」について、私たちは再三にわたり慎重審議を要請してきましたが、国民のあいだに疑問や不安の声が根強く存在したまま、国会通過がはかられたことは、たいへん遺憾であり、つよく抗議するものです。

そして、わたしたちの暮らしをめぐるのは、企業の倒産・高い失業率・就職難など、きびしい状況がつづいています。くわえて、医療制度や年金制度の改善がすすみ、国民の健康と生活への不安はますます大きくなっています。

戦後の生協活動は、「平和とよりよい生活のために」を合言葉に、あたらしいスタートを切りました。半世紀たった今、このことの意義について、あらためて、ふりかえりながら、21世紀を平和で、人間らしい健康で生き生きとした暮らしを実現する、持続可能な社会としていくために、組合員と役職員がともに力をあわせて、生協活動を大きく発展させることをたしかめあいいたいとおもいます。

本日、京都府生活協同組合連合会は、第50回総会を開催しました。京都における生協への加入数は69万人を数え、地域・学園・職域・医療・共済など多くの分野で、組合員の経済的・社会的・文化的ニーズにもとづいた事業・活動がすすめられています。

私たちが、この数年にわたり、すすめてきた食の安全をもとめる活動はひろい国民的な世論となり、今国会で食品安全基本法・食品衛生法改定案が成立するなど、食品安全の社会システムの実現へむけて、大きな一歩をふみだしました。さらに消費者保護基本法の34年ぶりの大幅な改正も予定されており、多くの府民によびかけながら、消費者権利の確立のための取り組みを力づよく、すすめていく必要があります。

地域社会と組合員の信頼にこたえ、「正直・公開・社会的責任・他人への配慮」(95年国際協同組合同盟〔ICA〕声明)という倫理的価値を大切にしながら、京都における生協活動を豊かに発展させていきましょう。

食品安全の社会システム確立へ、大きな前進 （食品安全基本法・食品衛生法改正法公布）

日本生協連理事会食品安全運動推進小委員会は、このほど「食品安全運動のまとめ」を発表しました。その一部を掲載します。

私たちの5年がかりでの運動は、食衛法改正にとどまらず、食品安全基本法の制定、食品安全委員会の設置等、日本の食品安全行政の「大転換」ともいえるべき画期的な前進を実現できました。

食品安全基本法については、第1に食品の安全性確保に関する包括的な法律として制定され、法の基本理念に食品の安全性確保は国民の健康保護が最も重要である旨が規定されたこと、第2に国・地方公共団体・食品関



自由民主党・奥山茂彦衆議院議員へ要望
J A京都女性協・大村会長とともに（1月18日）



民主党・山井和則衆議院議員、松井孝治参議院議員へ要望（1月27日）

食の安全 国会

連事業者の責務と消費者の役割が規定されたこと、第3に食品安全行政にリスクコミュニケーションも含めたりリスク分析手法の導入が明記されたこと、第4に新しい行政組織として食品安全委員会が設置され、委員会への消費者の意見反映や専門調査会への消費者の声を代表する者の参加が実現されることとなったことです。この他、施策の策定に当たっての国民への情報提供・意見交換の促進や、委員会の機能・権限として関係省庁へ

国会議員との



日本共産党・西山とさ子参議院議員へ要望
（2月1日）

の勧告等が規定されました。食品衛生法については、生協の国会請願の多くの事項が取り入れられました。第1に法的に国民の健康保護が明記されたこと、第2に国・地方公共団体や販売業者の責務及び国民からの意見聴取が規定されたこと、第3に残留農薬等のポジティブリスト制の導入や、安全性に問題のある添加物について既存添加物名簿から削除することが規定されたこと等です。また、農薬取締法や飼料安全法、と畜場

法等の法律も改正されました。なお、今回の一連の法制定・改正による食品安全行政改革は、法制度の枠組みの改革です。今後、この枠組みを生かした、運用面での実効性の確保が極めて重要な課題となつてきます。

また、この間の経過は、生協にとつても事業上の大転換を迫られるものでした。BSE問題の発生以降の一連の偽装表示事件の発生のおかげで、生協も数多くの偽装表示等の問題を発生させました。

産直の取り組みも含めて、優良誤認につながる表示や商品・事業管理のあり方が問われ、組合員や社会への情報開示とともにコンプライアンスとしても深刻な総括と改革が迫られることとなりました。

その後の生協の真摯な取り組みのなかで、社会的な理解が改めて広がり、組合員の間にも生協の商品・事業管理のあり方がどうあるべきか、食品の安全性や表示を巡る現在の社会システムへの理解が広がりました。

＜資料＞ 食品安全運動の経過

年	国・国会等の動き、社会的な動向	生協の取り組み
1999	●埼玉県所沢産茶葉から検出されたダイオキシンに関する報道による風評被害発生（2月）	●日生協理事会「食品の安全を確保する法・制度確立の運動」提起（5月） ●食品安全行政の抜本的充実・強化を求める国会要請署名（4項目）開始（7月～2000年3月）※5900団体、56万筆集約
2000	●雪印乳業製造の加工乳による大規模食中毒事件が発生（6月） ●食品の異物混入等が多数報道される。	●国会請願署名開始 ※12月までに1373万筆集約
2001	●国会請願：審査未了（紹介議員：541名） ●国内ではじめてのBSE感染牛確認（9月） ●BSE問題に関する調査検討委員会 第1回目会合（11/19） ●国会請願：採択（12/7、紹介議員：542名）	●「食品衛生法改正、運用強化を求める国会請願スタート集会」（10/10：東京）
2002	●雪印食品をはじめ食肉偽装問題が発覚。（2月～） ●「BSE問題に関する調査検討委員会報告」発表（4/2）	●「食品の安全を求める緊急消費者集会」（3/28：東京） ●「BSE問題調査検討委員会報告書」を経ての『日本生協連の見解』発表（5月）

京都府生協連は、2003年5月26日、吉田智道会長理事名で、京都府知事はじめ、地元選出国会議員、議会関係者の方がたなどへ、食品安全基本法・食品衛生法改正の成立にあたっての御礼文をお届けしました。一部を掲載します。

食品安全基本法・食品衛生法改正の成立にあたっての御礼

(略) 私たち生協は、食品衛生法の抜本改正をはじめ、今日的な食品の安全問題に対応できる社会システムの確立をもとめて、足かけ5年にわたる運動を全国で展開してきました。

2000年6月、京都府生協連第47回総会では「京都の生協の力をあわせ、食品衛生法の抜本的改正を求める署名にとりくみましょう」の特別決議を採択して取り組みをつよめ、集約された署名数は京都の生協運動史上、最高の46万5620筆となりました。この署名活動は、JA、森林組合、漁協、生協の協力・共同で取り組まれたことが特筆され、また京都労働者福祉協議会、京都消費者団体連絡協議会、共同作業所などにも協力をいただくことができました。

さらに、京都府知事をはじめ行政との懇談、地元選出国会議員への要請、京都市等各自自治体議会での意見書採択など、かつてない規模と広がりをもって運動がすすめられ、「食品の安全の社会的なシステムづくり」へ大きな役割をはたしてきました。

今回の法制定・改正においては、……略……生協の主張の多くが採り入れられています。今回の法の制定・改正は、わが国の食品安全の法制度が転換される大きな一歩となるものと期待しています。

そして、今回国会の審議にあたっては、わたしたちが提起してきた論点を中心に多角的な議論が熱心におこなわれ、大多数の賛成あるいは全会一致で可決されたこと、また審議をつづけて、法案にくわえて、生協の主張を反映した付帯決議がおこなわれたことはたいへん貴重であると考えています。今回の法制定・改正は、文字どおり党派をこえた国民的な願いにもとづいたものと評価できるでしょう。

また国会審議の過程でも、委員会・本会議での審議にあたっては、京都選出の国会議員のみならず、たびたび京都の生協としての要望とコメントをもとめられました。地域住民の組織である生協の声が国会の委員会・本会議に直接反映されていくなかで成立をみた、というプロセスもまた画期的であったといえます。

今回国会での上記法案の成立にさいし、ご支援いただいた各党国会議員のみならず、ご協力いただいた友誼団体のみならず、京都府知事をはじめ行政・各自治体議会のみならず、あらためて心より御礼を申し上げます。

(以下、略)

4月22日(火)、せいきょう会館で「食の安全」はどこまですすんだか」と題して、食の安全の取り組みふりかえり、到達点を確認するための学習・交流会を開催し、約30名が参加しました。

農林水産省近畿農政局消費生活課課長山田啓二さん(当時)より、「あらたな食品安全行政をめざして」農林施策について」と題して報告いただきました。

つづいて日本生協連食の安全推進担当北村洋さんが「食の安全」いま国会で議論されていること」を報告し、法整備の状況についての理解を深めました。



近畿農政局・山田啓二消費生活課長(当時)

年	国・国会等の動き、社会的な動向	生協の取り組み
2002	●食品への無認可の食品添加物使用問題が相次いで発覚(5月～) ●無登録農薬が違法に輸入・販売・使用されていたことが判明(8月) ●食品安全基本法骨子案公表(12/24)	●谷垣食品安全委員会担当大臣への要請実施(10/15) ●日生協理事会「食品安全運動推進小委員会」設置(10月)
2003	●食品安全基本法案、食品衛生法改正案を含む、食品安全関連8法案閣議決定(2/7) ●食品安全基本法案衆院本会議可決(4/22) ●食品衛生法改正法案衆院本会議可決(5/8) ●食品安全基本法案参院本会議可決(5/16) ●食品衛生法改正法案参院本会議可決(5/23) ●食品安全基本法公布(5/23) ●食品衛生法改正法公布(5/30)	●日生協「食品安全基本法案・食品衛生法改正法案等への基本見解」を発表(3月) ●「消費者の求める食品安全基本法・食衛法改正実現消費者集会」(3/13:東京) ●参議院内閣委員会の参考人意見陳述・質疑に日本生協連・品川専務理事が招聘される(5/8) ●日生協「食品安全基本法・食品衛生法改正の成立にあたって」を発表(5/23)

2003年 国際協同組合デー

第14回 京都集会開催

2003年7月2日(水)、キヤンパスプラザ京都(京都市下京区)で、2003年国際協同組合デー第14回京都集会が開かれ、150人が参加しました。主催は、京都府協同組合連絡協議会(構成…J A京都中央会、京都府漁業協同組合連合会、京都府森林組合連合会、京都府生活協同組合連合会)。

全体集会は、J A京都中央会総務部・牧野吉明部長の司会のもとで開会、京都府生協連・吉田智道会長理事があいさつをおこないました。



吉田智道会長理事

つづいて、農林水産省近畿農政局・斎藤仁志次長が、「食の安全・安心のための政策」として、①食品安全基本法の制定等、あらたな食品安全行政に対応する体制の見直し・強化、②産地段階から消費段階にわたるリスク

管理の確実な実施、③消費者の安心・信頼の確保、④食の安全を確保するための環境保全の取り組み、⑤研究の充実、について、報告講演されました。



近畿農政局・斎藤仁志次長



リレートークは、テーマを「京都の協同組合が、いま、取り組んでいること」とし、京都府生協連・坂本茂事務局長が進行を担当。4名から、それぞれ報告がありました。

「リレートーク・テーマと報告者」
〈J A…京の農産物あんしんシステムについて〉

J A京都中央会営農法人育成課課長・大槻松平さん



〈J F…都市との交流をめざして「定置網漁業体験」〉

養老漁業協同組合理事・北仲孝徳さん



〈森連…みがき丸太の商品開発へのとりくみ〉

京北町銘木生産協同組合副理事長・米嶋昌史さん



〈生協…地元のを地元で利用するとりくみ〉

京都生協常任理事・京都府生協連理事・高田艶子さん





京都府森林組合連合会
山内輝男専務理事

現在の高失業率・企業業績の悪化・リストラの進行などなかで、府内の協同組合がどのように状況を打開しようとしているか、象徴的な事例の報告で感銘をうけたという感想が多く出されました。

閉会にあたって、京都府森林組合連合会・山内輝男専務理事が、環境を守ることの大切さと切実さについてのべ、参加者にアピールしました。

午前の部 京町屋見学と女性交流会



J A 京都女性組織協議会
豊田勝代会長

全体集会に先立っておこなわれた「京町屋見学」企画には、25名が参加。京野菜などを販売する「かね松」さん、ゆかいなイラストなどを展示している「ユーモアギャラリー・町屋でホッ」さん、お酒と地ビールの試飲もある「キンシ正宗堀野記念館」さんを訪れました。地域再生の取り組みとして、京町屋を活用したさまざまな事例にふられて、よい企画であったという声が多くありました。

同じく、午前に開かれた女性交流会は、テーマを「聞いて・見て・試食して・わたしのお気に入り商品で交流」とし、各連の商品を囲んで、68名の交流会となりました。J A 京都中央



谷口美智子さん



伊藤有為子さん

〈J A 京都女性協〉
伊藤有為子さん
谷口美智子さん
手作り加工みずほのせんべい（味噌・そば粉入り）、編み笠団子、パウンドケーキ、抹茶マール、たけのこパン



久保清美さん

【女性交流会・各連から紹介された、お気に入り商品と発表者】
〈森連：京都市森林組合雲ヶ畑支所〉久保清美さん
ハーブティ、ハーブクッキー、山椒昆布、山椒ちりめん、梅干



江村代志子さん



斎藤紀子さん



廣瀬佳代さん

〈生協：京都生協〉
廣瀬佳代さん
斎藤紀子さん
江村代志子さん
黒豆関連商品、ヨーグルト関連商品



和田智恵子さん

〈J F 湊漁協婦人部〉
和田智恵子さん
神葉のふりかけ、神葉の佃煮



京都生協・小林智子理事長

商品の試食と交流で、肩のこらない、気軽な交流会だったという感想が多く出ました。京都生協・小林智子理事長が閉会のあいさつをのべました。

～1人ひとりの平和への願いをつなぐ～

ピースリレー 2003京都

5月7日に東京を出発したピースリレー2003は、6月21日に京都府へ到着。多くの組合員・市民が参加するなかで26日に奈良県へ無事引き継ぎました。今年度も昨年にひきつづき、平和にかかわる多彩な取り組みを強め、一人ひとりの平和への想いをつなげ広げることが大切にすすめました。

【6月21日・滋賀県からバトンタッチ（京都出発式）】



きょうされん京都支部 由良さん、京都医療生協 田中専務も行進



【6月21日・粟田神社（円山公園）】



【6月24日・向日市（長岡京市）
大山崎町】



【6月22日・立命館国際平和ミュージアム見学交流会】



【6月26日・木津町（奈良県へ引き継ぎ）】



【6月25日・宇治市（城陽市）
田辺市】

京都生協門脇専務、やましろ健康医療生協佐藤理事も行進

【6月23日・学習講演会】

ふりそでの少女とわたし

6月23日(月)、せいきよう会館で「ふりそでの少女とわたし」と題したピースリレー2003京都の学習講演会が開催され、市民・国民平和行進の通し行進者8名を含む40名が参加しました。

「ふりそでの少女」は、長崎市で原爆の犠牲になった少女二人を描いた絵本。福留美奈子ちゃん(当時9歳)と大島史子ちゃん(12歳)が原爆で亡くなった後、最後に薄化粧をして晴着を着せてもらい、茶毘にふされた様子を描いた物語です。

作者は、当時この悲しい光景を目のあたりにした松添博さん。どうしてもこの日の少女たちを忘れることができなかった松添さんは、29年後に一枚の絵「悲しき別れ—茶毘」を描きました。



「悲しき別れ—茶毘」の絵

学習会では、ふりそでの少女の一人、大島史子ちゃんの同級生藤田晴子さん(京田辺市在住)と、「ふりそでの少女像をつくる会」の事務局で元教員の伊達順子さん(綾部市在住)のお二人からお話を聞きました。



「ふりそでの少女像をつくる会」は、福留美奈子ちゃんの母福留志なさん(101歳・綾部市在住)の願いを受けて、地元綾部市の中学生たちが中心になり、像を建設するための募金活動にとりくみました。

京都生協組合員・一楽曜子さんによる絵本の朗読の後、藤田晴子さんが、仲良しだった同級生、大島史子ちゃんの思い出を語り、幼くして亡くなった無念さを「もし彼女が今声を出せるならば、戦争は嫌だ!と叫ぶでしょう」と訴えました。



藤田晴子さん

続いて伊達順子さんから、96年に長崎市の原爆資料館に設置された「ふりそでの少女像」の除幕式の映像が紹介され、当時の中学生たちの活動の様子や美奈子ちゃんの母志なさんの平和への願いをお話しいただきました。



伊達順子さん



福留志なさんへ「寄書き」を届けました(7月3日)



伊達順子さんは、「戦争の真実を語り継ぐことが、二人の少女が残したメッセージにこたえることです」とのべられ、参加者からは、「少女たちにゆかりの深い人が暮らすこの京都で、平和への想いをもっと広げなければ」との感想が寄せられました。

最後に、平和を願い続ける美奈子ちゃんのお母さん 福留志なさんへ、参加者全員で寄書きをしました。

組合員とともに

組合員からの声を
反映して改善を実現

府庁生協グリルが変わります！

府庁生協グリルでは、この間、利用がやや伸び悩んでいました。そこで昨年「グリル検討委員会」を発足し、利用者の声を聞いてさらに気持ちよくご利用いただくための検討を重ねてきました。

利用者から寄せられた意見・要望は、メニューのこと、施設の問題、職員の対応など幅広く声が出されました。声を集約する段階で、できるところはすぐはじめようと職員一同で検討してきました。

そして、委員会からの答申を受け、下記のような第1弾の改善策を7月から実施することになりました。

今後第2弾、第3弾と改善をすすめていく予定です。

やりたいことはまだまだたくさんありますが、費用や設備など根本的な面で課題があります。それでも一歩ずつ解決し、より利用しやすいグリルにしていきたいと考えています。

(常任理事 小川 正)

改善します！

第一弾

その一

テーブルにクロスをかけ、椅子のカバーも新調しました。色はグリーンを基調に若々しさやフレッシュさをイメージしました。イメージに添えるよう努力、努力。

その二

ユニフォームも一新しました。淡いブルーを基調にして、清潔・さわやかさをイメージしました。こちらにもイメージに添えるように努力、努力。

その三

メニューについては、当面現行どおりとしますが、組合員の要望に添ったメニューの改善をすすめます。



「京都商工会議所との懇談会」を開催



4月9日(水)、京都商工会議所会議室で、京都商工会議所と京都府生協連役職員との懇談会が開催されました。商工会議所からは、理事・中小企業経営相談センター所長 湯浅正さん、中小企業経営相談センター副所長 和田正さん、同センター松倉啓子さんが参加。京都府生協連からは吉田智道会長理事、小林智子副会長理事（京都生協理事長）、小峰耕二専務理事（京都生協常務理事）、田中弘常任理事（京都医療生協専務理事）、酒井克彦常任理事（大学生協京都事業連合専務理事）、酒向美也子事務局担当、京都生協理事会室谷口勲役員秘書・渉外担当

が参加しました。

商工会議所からは「京都の地域経済の動きや特徴・中小企業の状況や課題・商工会議所の事業計画」「03年度京都商工会議所の京都経済活性化の取り組みや事業・京都の産業の経営動向や主要なプロジェクト」について、京都府生協連からは、「生協事業の特徴」「食の安全の取り組み」について報告があり、意見を交換しました。

商店街の活性化やまちづくり、医療をめぐる状況、留学生の住居問題や京都での大学の役割、商工会議所の取り組みなどについて話しあい、今後もうし、まちづくり、産業振興等での協力・協同をめざすこととしました。



中小企業経営相談センター所長 湯浅正さん

各会員生協で総代会開催

5月20日(火)から7月30日(水)にかけて、京都府生協連の各会員生協で総代会が開催され、全生協で理事会が提案した決算・今年度予算・方針その他全議案が可決・承認されました。

また役員選挙のあった生協では、新しい役員が選出され、新しい方針と体制のもと、2003年度の活動がスタートしました。



5月28日 京都橘女子学園生協（学内にて）



5月29日 京都生協（京都テルサにて）

「第16回 京都府生協連役職員研修会」開催

7月15日(火)、京都府庁内福利厚生センター会議室で、第16回京都府生協連役職員研修会が開催され、45名が参加しました。

今回は京都産業大学法学部教授の坂東俊矢先生を講師にお迎えし、消費者保護基本法の抜本的改革と消費者政策の充実をテーマに、「21世紀の消費者政策」「消費者の権利保障と事業者の社会的責任確立」と題してのご講演をいただきました。

開会にあたり、今回の研修会にご協力いただいた京都府商工部消費生活課の八島一美課長より、ごあいさつをいただきました。



京都産業大学法学部教授 坂東俊矢先生



京都府商工部消費生活課課長 八島一美さん

「理事長懇談会」開催

7月24日、コープイン京都で京都府生協連理事長懇談会を開催し、各生協から19名の理事長・専務理事にご参加いただきました。

今回のテーマは「生協におけるコンプライアンス経営確立に向けて」。日本生協連政策企画部の小熊竹彦さんにお話しいただきました。



日本生協連政策企画部 小熊竹彦さん

京都府生協連 2003年度 役員体制(敬称略)

6月10日に開催された第50回
通常総会により、京都府生協連
2003年度役員体制が決定し
ました。

- | | | | | | |
|----------------------------|------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|--|---------------------------|
| 会長理事 吉田智道
(員外) | 副会長理事 小林智子
(京都生協理事長) | 専務理事 小峰耕一
(京都生協常務理事) | 常任理事 小川 正
(京都府庁生協常任理事) | 常任理事 酒井克彦
(大学生協京都事業連合専務理事・池坊学園生協専務理事) | 常任理事 田中 弘
(京都医療生協専務理事) |
| 理事 大塚正文
(京都橋女子学園生協専務理事) | 理事 木村世志雄
(全京都勤労者共済生協専務理事) | 理事 佐藤京子
(やましろ健康医療生協理事長) | 理事 吹田知久
(京都府医大・京都府立大生協専務理事) | 理事 平 信行
(京都大学生協専務理事) | 理事 高田艶子
(京都生協常任理事) |
| 理事 寺尾正俊
(京都教育大学生協専務理事) | 理事 沼沢明夫
(立命館生協専務理事) | 理事 松浦順三
(京都工芸繊維大学生協専務理事) | 理事 森川 隆
(やましろ健康医療生協専務理事) | 監事 島田 浩
(京都府庁生協監事) | 監事 新堀悟史
(乙訓医療生協理事) |
| | | | | 監事 宮村浩一
(京都大学生協常務理事) | |

おもな行事のお知らせ

2003年度

京都府協同組合

職員体験交流・学校

主催 京都府協同組合連絡協議会
(京都府生協連・JA京都中央会・
京都府漁連・京都府森連)
日程: 9月12日(金)～13日(土)

2003年度

京都府総合防災訓練

主催: 京都府防災会議、他
日時: 9月6日(土) 7:00～11:30
主会場: 向日市麒麟ビル工場跡
※京都府生協連は緊急物資搬送訓
練に参加します。

「第15回KYOのあけぼの フェスティバル2003」 ワークショップ

主催: KYOのあけぼのフェステ
イバル実行委員会
日時: 10月19日(日)
10:30～15:30の時間帯
会場: 京都府民総合交流プラザ
(京都テルサ)



コープ住まいの情報館

京都市南区吉祥院石原上川原町1-1
TEL.075-672-6661 FAX.075-682-2691

探訪

コープ標準仕様・安心と信頼の 住まいづくり

家づくりはたいへん大きな出費。専門的な知識も必要になるため、
わかりにくいことや不安なこともたくさんあると思います。
京都生協では、組合員のみなさんの不安や不明な点を解消し、同一
仕様・適正価格で工事ができるようにサポートしています。

